

学習会

荒瀬ダム撤去と 球磨川・八代海の再生

第3回

宮崎駿のアニメ「風の谷のナウシカ」では文明に汚染された世界に「腐海」という猛毒につつまれた生態系が誕生します。これはSFアニメでしたが、私たちの身の回りに起こっている現実でもあります。(高橋徹：熊本保健科学大学教授)

「戻んだ水に忍び寄り シアノバクテリアの恐怖」アオコ

●日時：平成21年4月25日(土) 午後7時

●会場：やつしろハーモニーホール大会議室 AB

●講師：高橋徹(熊本保健科学大学教授)

●参加費：300円

●主催：荒瀬ダムの撤去を求める会、荒瀬ダムの撤去を願う市民の会、美しい球磨川を守る市民の会、川辺川を守りたい女性たちの会、川辺川・球磨川を守る漁民有志の会、川辺川利水訴訟原告団、八代女性市民の会、清流球磨川・川辺川を未来へ手渡す流域郡市民の会、球磨川大水害体験者の会、子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会、やつしろ川漁師組合、下球磨・芦北川漁師組合、ガイアみなまた、エコネットみなまた。

●問合せ先：本田 0965-45-2286、出水 0965-32-2261

お誘い合わせの上、ご参加ください



市房ダムのアオコ

●学習会内容

清流の酸素いっぱいの水ではバクテリア達が汚れをとことん分解してくれます。ところが、水が一カ所にとどまると、別のバクテリアが活動を始め、場合によってはシアノバクテリア(アオコ)という光合成バクテリアが発生してとんでもない事にもなります。シアノバクテリアは地球生命の大先輩で、地球環境にはじめて酸素を供給し、植物の葉緑体にもなったという大切な生き物なのですが、近年、人為的に汚染が進んだ池や湖では、猛毒物質を出すアオコが大発生して問題になっています。ここでは諫早湾調整池に大発生した有毒シアノバクテリアを例に、どうしてそんな事が起こるのか考えてみます。また、無毒ではありましたが、昨年市房ダムに大発生したアオコも紹介します。